

学力向上通信
「三重の学-Viva!! (まなびば)」

創刊号



11
2014

発行者：三重県教育委員会
「学力向上緊急対策チーム」
連絡先：研修推進課
TEL：059-226-3572

※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

チームリーダー
からの
メッセージ

「学力向上」に向けた取組について

学力向上緊急対策チーム チームリーダー 信田 信行

8月25日に平成26年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

その結果は、小中学校ともに3年連続で全国平均を下回るなど、大変厳しいものとなりました。県民の方々をはじめ多くの皆さんから、教育に対する非常に厳しいご意見をいただいています。この結果に私を含め、残念な思いをされている児童生徒や先生、保護者や教育関係者の皆さんもいることと思います。

このような厳しい状況の中、学力の向上と県民の皆さんの教育に対する信頼の回復を図るため、10月1日付けで県教育委員会事務局内に、私（副教育長）をチームリーダーとする「学力向上緊急対策チーム」を設置するとともに、県尾鷲庁舎に3名の職員を常駐させ、取組を進めることとしました。

このチームでは、これまでの学力向上施策を検証し、取組の改善や強化策を検討し実行に移していきます。また、先進事例等の情報発信を行っていきます。

県教育委員会や市町教育委員会、学校が危機感を共有し、学力向上に一丸となって取り組み、保護者や県民の皆さんの期待に応えていきたいと考えています。

三重の子どもたちの大いなる可能性を引き出し、また、わかる喜びを実感し学習する意欲を高めることができるよう、学校現場に寄り添いながら学力向上の取組を進めてまいります。

皆様と一緒に、一人ひとりが当事者として、子どもたちの輝く未来づくりに向けて、より一層取り組んでいきたいと考えますのでよろしくお願いいたします。

先輩

~学力向上アドバイザー~
からの
メッセージ

“授業改善”がキーワード！

学力向上アドバイザーは定期的・継続的に学校を訪問していますが、ある学校での事例を紹介してもらいました。

「ある学校では、校内研修で、学調問題を全教職員がまず解いて、今どんな力が子どもたちに求められているかを共有した後、その学校の子どもの課題となる領域や学習内容を明確にっていました。その学習内容に関連のある単元や指導内容を1年から6年まですべて洗い出し、

系統性を確認したり、どの学年で、あるいはどの指導段階で子どもたちがつまづきやすいのかを議論したりしていました。全教職員が学力向上の意識とともに指導力を高めるための積極的な研修を推進し、授業改善に向けて動き出していました。」

とても熱のこもったお話でした。このような情報を共有し、さまざまな方々の前向きな“力”に変えていきたいと考えています。

◆連載◆ 全国学力・学習状況調査から見えてきたもの

Vol.1 全国学力・学習状況調査結果について

県教育委員会では、「全国学力・学習状況調査」の結果について、分析を行い8月に公表しました。教科に関する調査結果では、全ての教科で全国の平均正答率を3年連続下回るなど、厳しい結果となりました。また、児童生徒・学校質問紙調査においても充実・改善すべき点が明らかになりました。今こそ、三重の教育に携わる関係者がこの状況を真摯に受け止め、心を一つにしてこの状況を改善していく必要があります。

併せて、本県では、平成24年度から、子どもたちの学力向上に学校・家庭・地域が一体となって取り組む「みえの学力向上県民運動」を展開しています。それぞれが当事者意識を持ち、学力向上に向けて一丸となって取り組むためにも、結果を共有し、活用していきましょう。

以下に、本県の特徴的な分析結果を紹介します。小中学校ともに次のような課題が見られました。

国語

- 漢字や故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で適切に用いること
- 目的に応じて、事実と感想、意見などの関係を整理して書いたり読んだりすること

算数・数学

- B問題（「活用」に関する問題）では、A問題（「知識」に関する問題）と比べると無回答率が高いこと。また、全国と比較してもその差がA問題より開いていること
- 関係を見だし説明したり、根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり、表現すること

学習活動の基盤となる言語に関する能力に課題のあることが、主として「活用」に関する問題（B問題）の無解答率の高さにもつながっていると推察されます。

質問紙調査の

結果分析

質問紙調査の結果分析から、すべての教科で平均正答率が高い傾向が見られたのは、以下のような学校、家庭、児童生徒であるということがわかりました。

- ・ 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されている！
- ・ 授業の最後に、学習内容を振り返る活動がよく行われている！
- ・ 校長が、校内の授業を見て回っている！
- ・ 家で、学校の授業の復習をしている！
- ・ 毎日、朝食を食べている！
- ・ 毎日、同じ時刻に寝ている・起きている！
- ・ 今、住んでいる地域の行事に参加している！
- ・ 1日あたりのテレビを見たり、スマートフォンを使用したりする時間が短い！

Check!

各学校において、上記の質問紙項目の回答状況を確認してみましょう

「平成26年度全国学力・学習状況調査結果」

<http://www.mie-c.ed.jp/shochu/26gakutyoubunsekishousai.html>

自分の考えを明確にするために 「書く」活動の充実を図る



..... 日常を通じた学校全体での **取組**

- **根拠を明確にし、筋道を立てて説明できる子どもを育てるための授業のあり方を追求する**
 - ① 授業の改善：45分の中に、必ず「自分の考えを書く」活動を織り込む
 - ② CRT、学調の分析を活かす：課題の大きい単元に重点的に取り組む（習熟度別授業実施）
 - ③ 発展的な問題への取組：みえスタディチェック、学調の問題を活用する
- **家庭学習の充実を図る**
 - ① 家庭学習の手引きを作成・配布する：保護者に理解と協力を求める
 - ② 学年で情報交換し、系統性を持たせる：学年による温度差が生まれないようにする
 - ③ 自主学習の充実を図る：家庭学習に加え、積極的に自主学習に挑戦する子どもの育成
 - ④ 長期休業中の家庭学習の強化を図る：東書ライブラリーの活用、4教科型ワークの購入など
- **総合的な学習や生活科を軸に、体験型学習を多く取り入れ、子どもの興味関心や意欲を高める**
- **研修の充実を図る**
 - ① 授業研究以外に、学力向上をテーマに、講師を招いて全体研修会を持つ（25年度は3回）
 - ② 県外研修への積極的参加：25年度は10名参加（堀川小、大教大附属小、立命館小など）
- **教師集団の意識を高める**

教師ひとり一人が、学力向上に向けて工夫・改善に努める

..... 全国学力・学習状況調査に向けた具体的な **取組**

- **学調の活用**
 - ・ 過去の調査問題を印刷し、5年生児童に個別ファイルにして渡す
 - ・ 過去の調査問題に取り組ませる（時間配分のスキルを身につけることを目的に）
 - ・ 子どもの解答をコピーして、全職員が分担して採点し、分析する
- **家庭学習における「自主学習」の充実**
 - ・ CRT検査で厳しい結果が出た学年の担任が、年間を通して宿題に加え、積極的に自主学習に取り組ませた結果、1年後に成果が見られた
- **東書ライブラリーの活用**
 - ・ 授業や家庭学習に積極的に利用する（サイズ、量が適切で使いやすい）

“めあて”と“ふりかえり”を取り入れていますか？

全国学力・学習状況調査結果より

「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていた」「授業の最後に学習内容を振り返る活動がよく行われていた」と回答した子どもたちは、平均正答率が高い傾向にありました。

授業の目標（めあて・ねらい）

子どもたちが、見通しをもって主体的に学習をすすめるものを設定することが大切です

授業でつきたい力を明確にしましょう！
子どもたちの実態に即したものにしましょう！

振り返る活動

目標（めあて・ねらい）に沿った振り返りとなることが大切です

書き出しやキーワードを与えて、分かったことを子どもたちが自分の言葉で書く時間を設定しましょう！

授業において、子どもたちが見通しを持って学び、自らの学びを振り返り、学ぶ喜び・わかる楽しさを感じられるよう、子どもたちの主体的な学びをつくっていきましょう。

県民の声

- **【県民の方のご意見】** 三重県の教育レベルが低いことはどうにかありませんか。学力テストが40位より下です。
親として心配なので、先生に「大丈夫ですか」と聞いたら「大丈夫、全然心配いらない」と言っていました。現場に危機感がありません。こんな県で育つ子どもは不幸だと思います。学力レベルを上げるのは全県を挙げてやらないと無理です。三重県の教育委員会はしっかりしてほしいと思います。
- **【県教育委員会の回答】** 県教育委員会では、県全体の調査結果や分析結果とともに、今後の改善方を公表します。また、各市町教育委員会や各学校に対して、今回の結果を受けて、それぞれで分析した結果や改善方を適切な方法で保護者等へ公表・説明することを働きかけています。
今回の厳しい結果を踏まえ、県教育委員会・市町教育委員会及び学校が一丸となって三重の子どもたちの学力向上に全力で取り組み、子どもたちが胸を張り、自信を持って進学したり、社会に羽ばたいたりすることができるよう、努めてまいります。

研 修 会 案 内

～第1回授業改善（小学校国語）の充実を図る研修会について～

**単元を貫く言語活動を位置付けた
国語科の授業作りを進めよう！！**

子どもたちが主体的に学び、成就感を味わうことができる国語の授業づくりのポイントが分かります。

- **日時** 平成26年11月25日（火）14:00～16:00
- **場所** アスト津（アストホール）
- **講師** 水戸部 修治 文部科学省 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程調査官

～「みえの学力向上県民運動」フォローアップイベント～

**学校・家庭・地域が一体となって
子どもたちの学力向上を目指します！！**

各主体（学校・家庭・地域）の取組の連携を深め、運動のさらなる浸透・充実を図ります。

- **日時** 平成26年12月19日（金）14:00～17:00
- **場所** 三重県総合文化センター（中ホール他）
- **内容** 第1部（全体会）パネルディスカッション等
第2部（分科会）1～4分科会